

AMUSEMENT SQUARE stage

創立三十周年を迎えて飛躍するやませ

〈文・劇団やませ代表 梶谷伸夫〉

岩手県和賀郡湯田町。JR湯田駅々舎内に銭湯がある温泉の町。昨年の九月、会場の銀河ホール見学を兼ねて、毎年行なわれている「銀河ホール地域演劇祭」に参加した。

演劇で町起こしをしている湯田町の演劇専門ホール「銀河ホール」Iホールに入って、一発で気に入った。まず緩帳。紺を基調に、たくさん星や天の川がちりばめられている。それだけで銀河の中にいる雰囲気はひたれる。観客席がまたいい。客席は四百弱。座席の他に、両側に畳二畳ずつ棧敷が計十ヶ用意してある。舞台の広さは、ぜいたくすぎるくらい広い。そして、極めつけは、ホール全体の内装色彩。宇宙を意識している。こんな遊び心で公共ホールを創る姿勢にうらやましさを感じた。

大人の町民が、一年に最低四本は生の舞台を観るといふ。そういえば、開場前、ホールの玄関に並んでいると、町役場のバスが次々と町民を降ろしていく。彼らの手には、何枚つづりかのチケットが握られてあった。町そのものが、八戸市民劇場のような役割を担っているのだろう。

この町に川村光夫氏が率いる、創立五十年を超える劇団ぶどう座がある。氏も劇団も全国的に有名で、その存在も大きいのだろう。

この「銀河ホール」で、八月二十五日から三日間、「第八回全日本演劇フェスティバル兼銀河ホール地域演劇祭」が開催される。私も劇団やませが加盟している、全国のプロ・アマチュア演劇集団百団体ぐらいで構成している「全

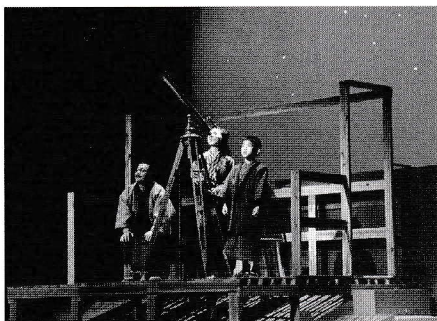
日本リアリズム演劇会議」が、全国持ち回りで、二年に一回フェスティバルを開催している。これへの参加は、十数年前に岐阜で行なわれたフェスティバルに、私の一人芝居「海村」で参加して以来である。今回は、やませ以外に次の演劇集団が参加する。劇団埼玉（埼玉）「風・夏冬」、劇団馬山（大韓民国）「春香伝」、劇団自立の会（京都）「おこんじょうのり」、劇団大阪「そして、あなたに逢えた」、岩手ぶどう座「めくらぶんど」「お婆さんと酒と役人」と。これ以外に、町主催の演劇講座から、高齢者・障害者による「植物医師と講座受講生による「土神裁判」の上演と川村光夫氏の講演などが予定されている。総勢三百人を超すという。

この三日間、湯田町は演劇であふれかえりそうである。もう一つの楽しみは、土曜日の夜に野外で行なわれる「大交流会」である。全国から集まった演劇関係者と町民が、酒を片手に、楽しそうに出し物を横目で見ながら、夜を徹して口角泡を飛ばす大交流会。厳しい批評は勿論、演劇に関するさまざまなこと、そこかしこで話し合われる。

我々の「我が内なるラビュータ」も酒の肴にされるのは目に見えている。劇団やませは、今



第8回全日本演劇フェスティバル
岩手湯田銀河ホール地域演劇祭
8月25日(金)・26日(土)・27日(日)
場所/ゆだ文化創造館銀河ホール
◎入場料金
○3日間通し券 大人1,000円 小中高300円
間)ゆだ文化創造館銀河ホール
☎0197-82-3240
岩手県和賀郡湯田町上野々39地割195番2



年、創立三十周年を迎える。記念公演予定の、四月のはちのへ子ども劇場での「おこんじょうのり」はすでに終えている。この八月の「我が内なるラビュータ」はその二弾となる。「我が……」は、八戸でも七ステージ、東京で三ステージを演じているので説明はいら

ないとは思いますが、明治時代のちょっと変わった私設天文学者、前原寅吉を描いたものである。なお、フェスティバル終了直後の八月三十日(水)に、八戸市公会堂で、長者中学校の演劇鑑賞教室も待っている。

記念公演の最後は、十一月十八日(土)、十九日(日)に予定されている「九戸政実」である。五月下旬に台本が出来上がり、「我が……」の稽古と並行して脚本研究も予定されている。演出は、久しぶりに、東京から栗谷川洋氏を招聘することになっている。秋は暇がなさそうっ！

記念誌や祝賀会の話も出ているが、さて、取り組む時間があるものやら……？

8月のFriday Amusement Negative Shop

■4日 (第339回)
未定

■11日 (第340回)

「密室で待ちながら」

作・演出：棹崎おしゃぶる丸
キャスト：荒谷太郎、沢田英明他
スタッフ：照明：石橋孝一
音 響：岩間彰子

「断片、そして記憶」

原 作：音喜多由記子
脚本・演出：棹崎おしゃぶる丸
キャスト：遠瀬純平、豊川郁宏、大矢秀俊、浅坂恵未
スタッフ：照明：石橋孝一
音 響：岩間彰子

■18日 (第341回)

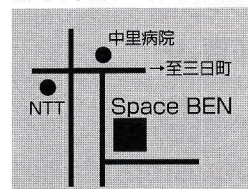
タイトル未定

構成：安達良春

■25日 (第342回)

未定

※全て午後7時30分～、料金500円
※チケットはスペースベンにて販売



駐車場はございませんので、車のご来場はご遠慮下さい。
(近くに西町書店駐車場有り)

問 スペースベン
八戸市柏崎1-11-8
☎&FAX 43-9876

FANSの番組につきましては、デリー東北の「あすのメモ」「きょうのメモ」欄でご確認下さい。

FANSでは、役者、スタッフ、その他何でも、何かを表現してみたい人を募集しています。ご遠慮なく、ご連絡下さい。